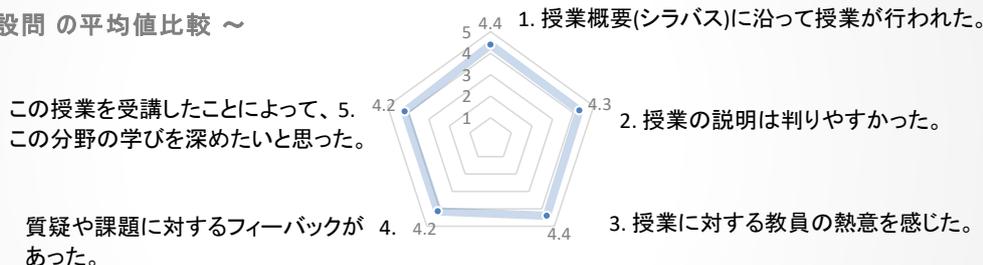


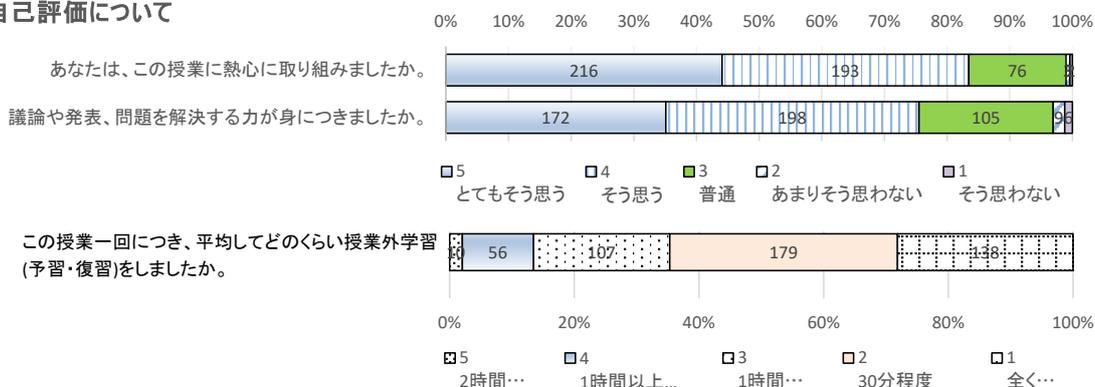
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラパス)に沿って授業が行われた。	250	183	55	1	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	230	188	64	7	1	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	257	177	52	2	2	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	198	189	87	11	5	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	187	207	89	3	4	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~

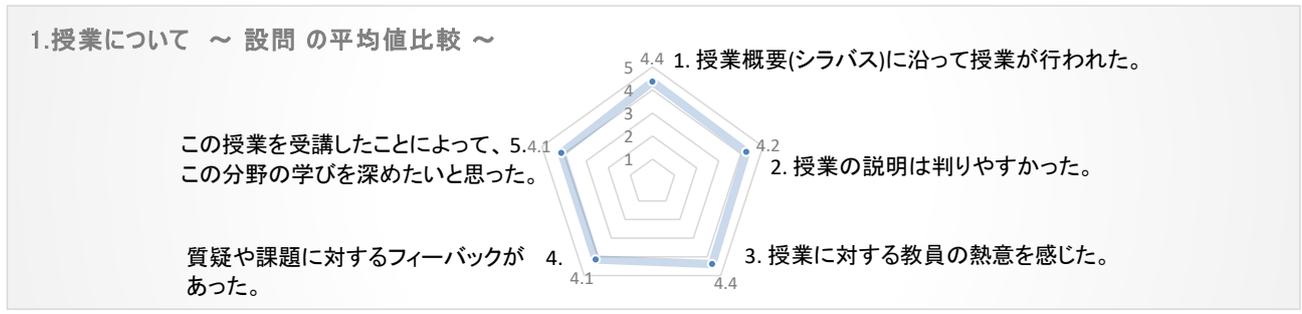


設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	216	193	76	3	2	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	172	198	105	9	6	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	10	56	107	179	138	2.2

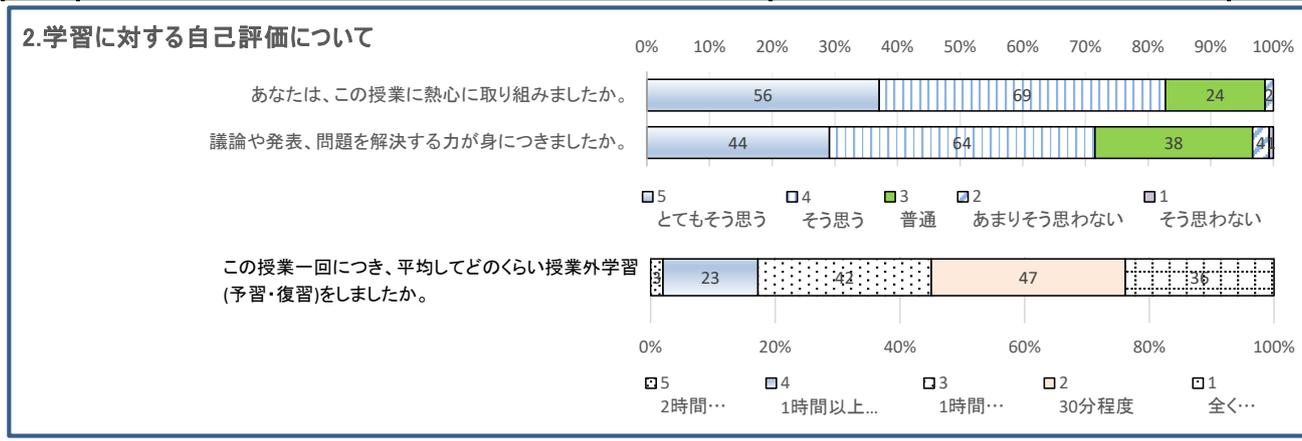
2. 学習に対する自己評価について



設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	77	54	18	1	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	62	67	20	1	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	75	60	15	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	57	64	26	2	2	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	53	65	31	1	1	4.1
総平均							4.2



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	56	69	24	2	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	44	64	38	4	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	23	42	47	36	2.4

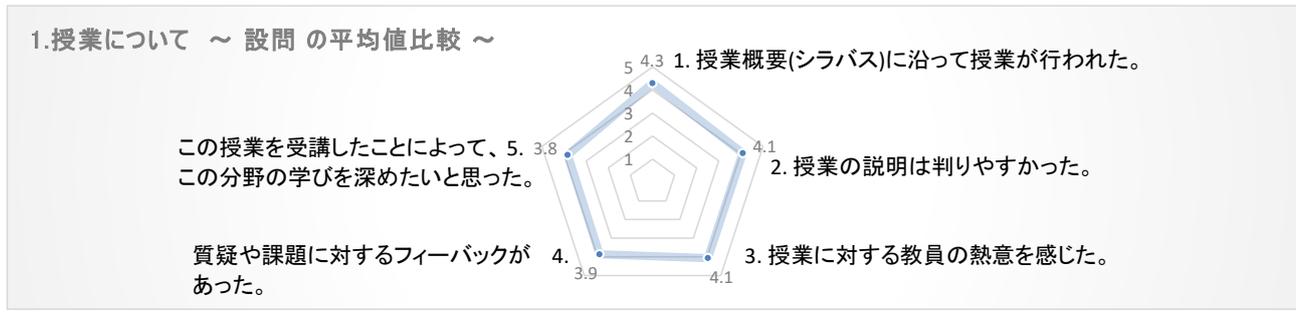


アンケートに対する教員所見

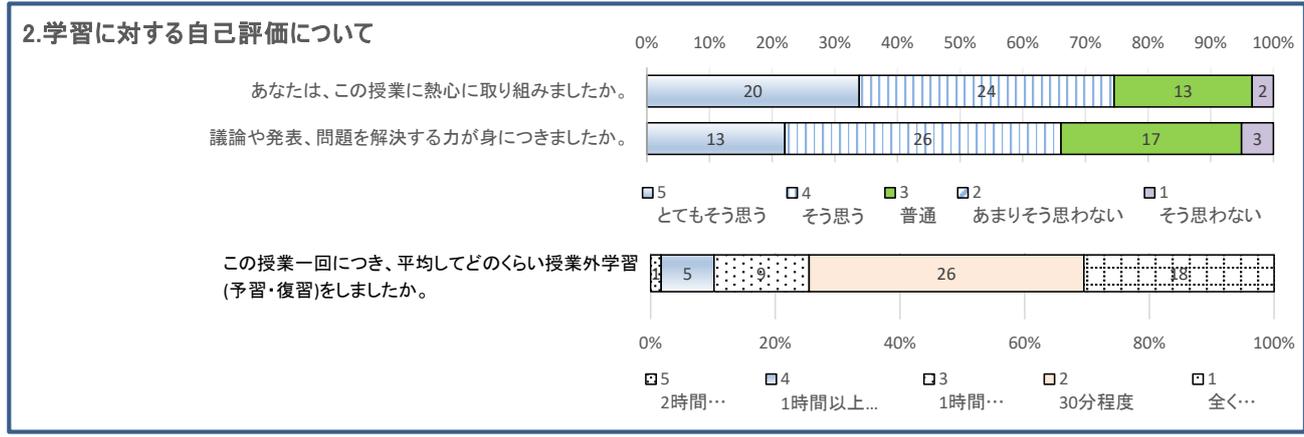
①現状(アンケート結果に対する考察)
 「日本文化と国際理解」(1年生必修科目)については、その都度外部指導者を招聘したり、これまでの海外研修(2年選択科目)の実践を紹介するなどしながら、興味深く、また楽しく学べるように工夫してきた。しかし、内容や指導法が多岐に亘ることから、十分に理解し、ノートにまとめていくことに困難を感じた学生がいたかもしれない。さらにひとつの教室での一斉授業が展開できないことから(毎回オンラインを使用)学修内容が聞き取りにくいケースもあったことなどが、上記の結果に表れていると考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)
 今後も講義内容を工夫し、日本文化や国際理解についての学びが深められるようにしていきたい。また、学生を主体に据えながら、自ら考えたり、話し合ったりするような指導法を取り入れていきたい。さらに2年次の選択科目「海外研修」の魅力が伝えられるように学びの連続性を大切にしていきたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	20	11	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	23	20	14	2	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	24	20	12	1	2	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	15	26	15	1	2	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	14	26	16	1	2	3.8
総平均							4.0



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	24	13	0	2	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	13	26	17	0	3	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	9	26	18	2.1

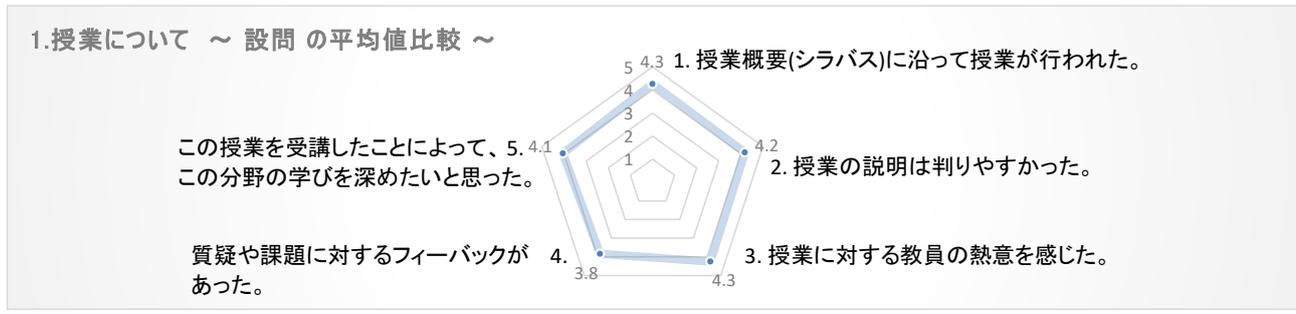


アンケートに対する教員所見

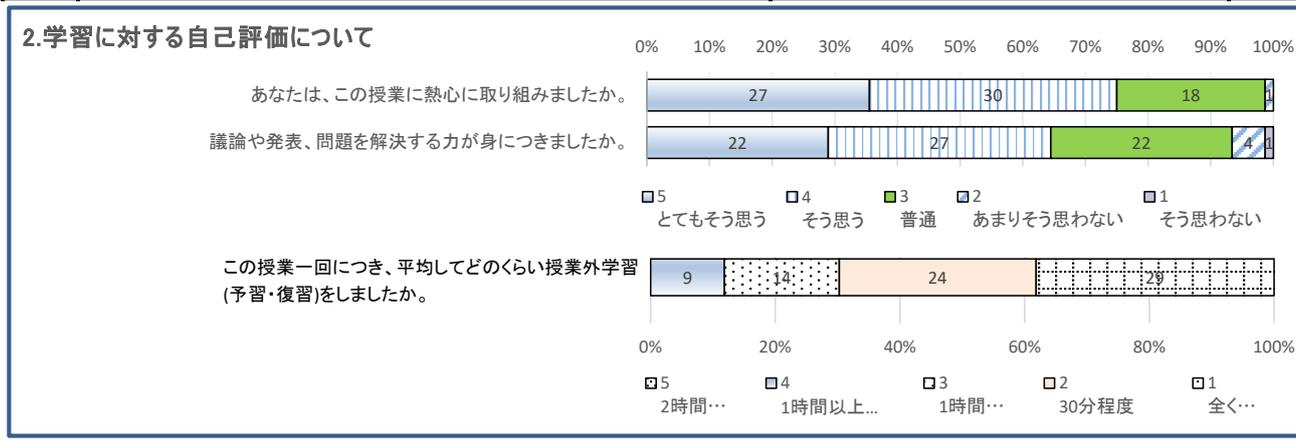
①現状(アンケート結果に対する考察)
 昨年度に比べてアンケートに回答する学生の数が少ない。しかも設問 I の(3)～(5)、設問 II の(1)～(2)について、「1(そう思わない)」と回答した学生が2～3名いる。昨年度はこの欄は「0」だったことを考えると、学生の満足度が低下しているものと考えられる。その原因がどこにあるのか、授業の内容だけでなく、学生全体の状況、担任と学生の関わり方など総合的な観点から分析する必要がある。

②課題と展望(授業改善方針)
 2年生の「キャリア教育Ⅱ」についても同様のことが言えるが、アンケートの回答者数が少ないことについて、大学全体でアンケートの取り方などを含めて検討する必要がある。様々な場面で実施後の(満足度)アンケートが実施されているが、回答することが当たり前になるような仕組みを工夫する必要がある。今のままでは、回答内容そのものもマンネリ化する危険性があるのではないだろうか。(この傾向が、キャリア教育の授業後アンケートだけについて言えるのであれば、授業として考えればいい事だが、他の科目についても似たようなことが言えないだろうか。)時間外学習を増やすための課題の出し方やフィードバックの仕方などの工夫と合わせて、検討が必要ではないだろうか。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	30	36	10	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	35	12	1	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	31	33	12	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	23	25	21	6	1	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	23	34	19	0	0	4.1
総平均							4.1



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	27	30	18	1	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	22	27	22	4	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していません	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	9	14	24	29	2.0

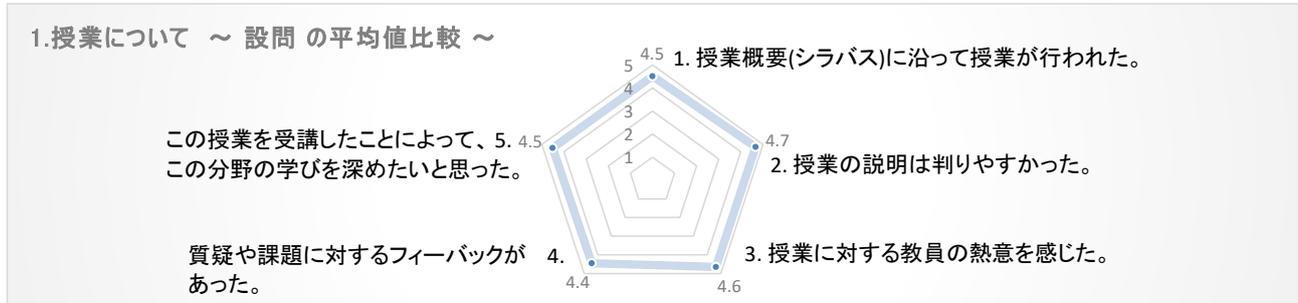


アンケートに対する教員所見

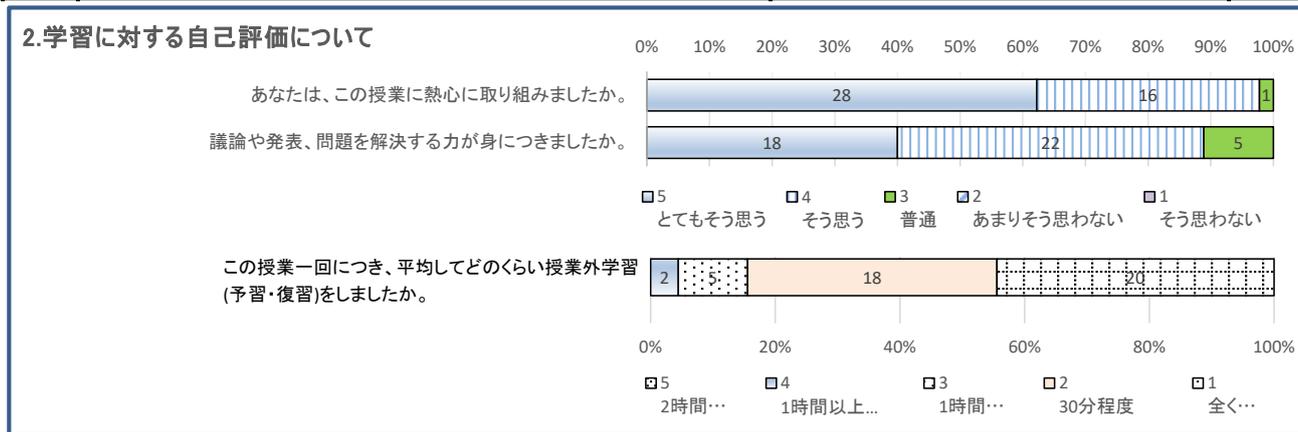
①現状(アンケート結果に対する考察)
 本科目は、キャリア形成支援と就職活動支援を目的として、それぞれの授業ごとに独立したテーマと内容で実施してきた。学生からは就職活動に向けて理解が深まったとの評価があり、本科目の就職活動支援の目的は概ね達成できたのではないかとと思われる。今後、本科目の目的と内容を学生が自身のキャリア形成支援と就職活動をより結び付けて捉え、学びが深められるように授業内容や指導法の工夫・改善を図っていきたいと考える。

②課題と展望(授業改善方策)
 キャリア教育の学びを1年次の早い時期から深めてもらうためにも、将来の職業人としての資質や能力の向上に繋げ、それを就職活動にも行かせるよう指導の工夫を図っていきたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	24	20	1	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	15	0	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	16	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	22	21	2	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	24	20	1	0	0	4.5
総平均							4.6



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	16	1	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	22	5	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	5	18	20	1.8



アンケートに対する教員所見

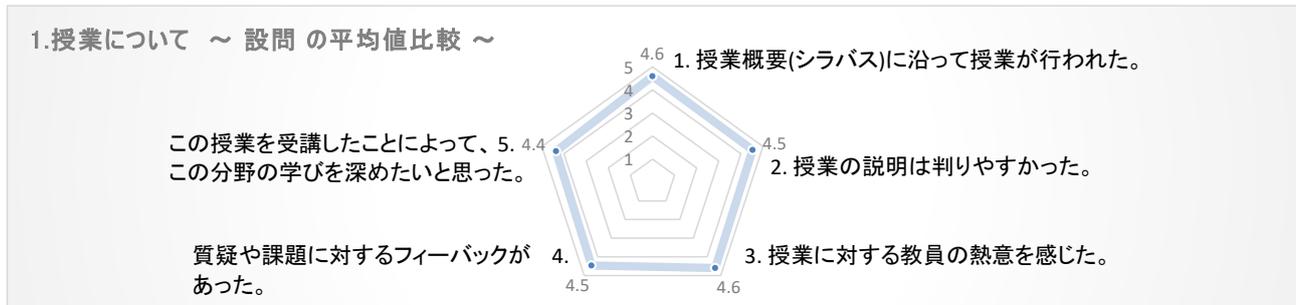
①現状(アンケート結果に対する考察)

本授業は、①「本授業で取り組むスポーツ各種の基本的なルールを理解して基本動作を修得し、ゲームを実践することができる。」、②「誰でも良好な人間関係を構築しながら、チームパフォーマンスが高まる方法を考え、実行することができる。」、③「チームスポーツにおけるコミュニケーションについて説明できる。」ことを到達目標として、ボッチャ、ポートボール、バレーボール、卓球、バドミントン等を行った。総平均は4.6であり、概ね高い評価と得た。学生はクラスメイトと協力して積極的に各スポーツに取り組んでいた。一方で、授業時間外学習を見ると、「30分程度」「全くしていない」と回答した学生が8割以上もいることが明らかになった。この点について、今後の課題として改善策を検討したい。

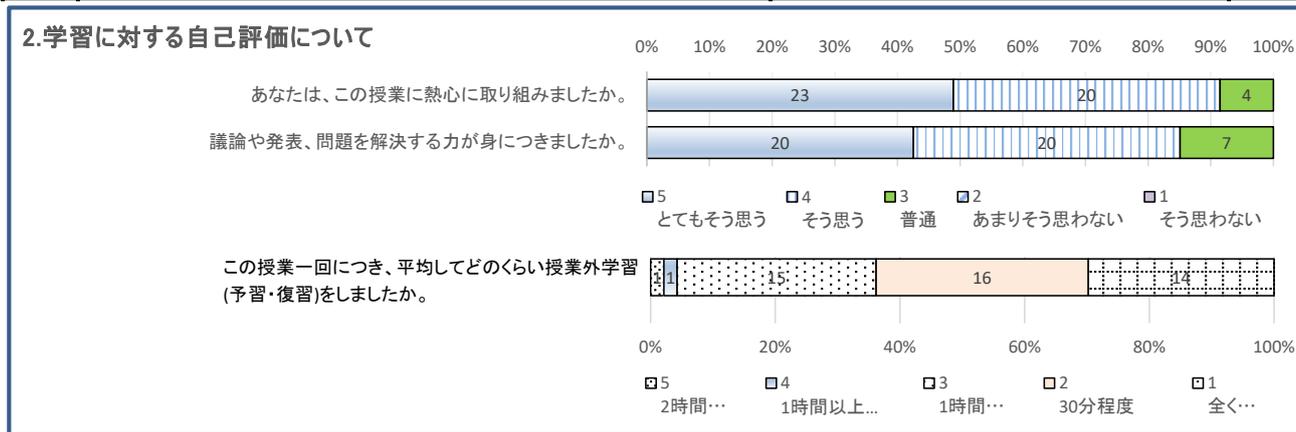
②課題と展望(授業改善方策)

授業中、学生は積極的に各スポーツに取り組んでいる一方で、多くの学生が授業時間外学習に取り組んでいないことが分かった。この課題を解決するために「履修者専用のTEAMS」を作成して、授業時間外学習で取り組むべき内容を具体的に提示していきたい。あるいは、参考となる動画URLも添付するなどして、各スポーツのゲームメイク、コミュニケーションの参考となるようにTEAMSの活用を充実させていきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	31	13	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	16	3	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	31	13	3	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	26	17	4	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	22	2	0	1	4.4
総平均							4.5



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	20	4	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	20	20	7	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	15	16	14	2.1



アンケートに対する教員所見

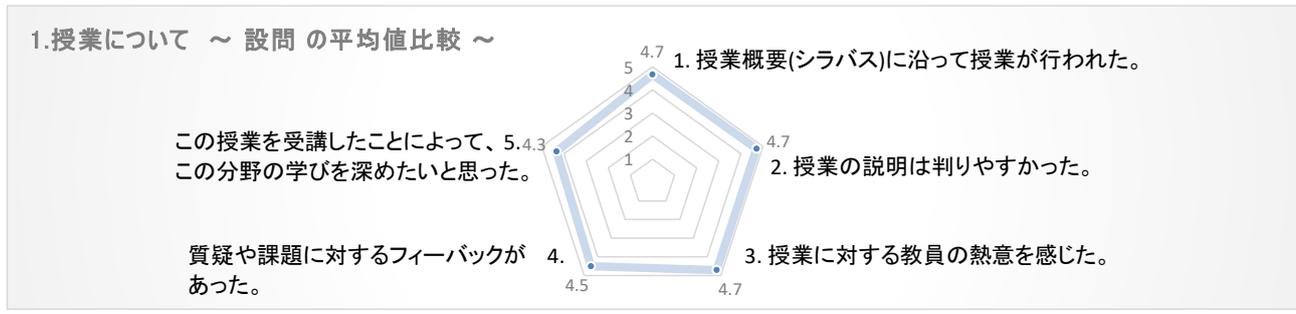
①現状(アンケート結果に対する考察)

本授業は、「社会に貢献できる専門的な職業人になるために、本科目を通じて健康の維持・増進を目的とした運動の必要性を理解し、日常生活において実用できる。そして、運動処方について正しい知識を学び、日常的な運動を心がけ、健康的なライフスタイルについて説明できる。」ことを到達目標として授業を行った。学習内容は、ダイエット、脂肪、有酸素運動、筋力トレーニング、ストレッチなどである。設問Ⅰの結果を見ると、最低値が4.4(「この授業を受講したことによって、この分野を深めたいと思った」)であり、総平均が4.5であったことから、概ね高い評価を得たものと認識している。一方で、授業時間外学習を見ると、「30分程度」「全くしていない」と回答した学生が6割以上もいることが明らかになった。この点について、今後の課題として改善策を検討したい。

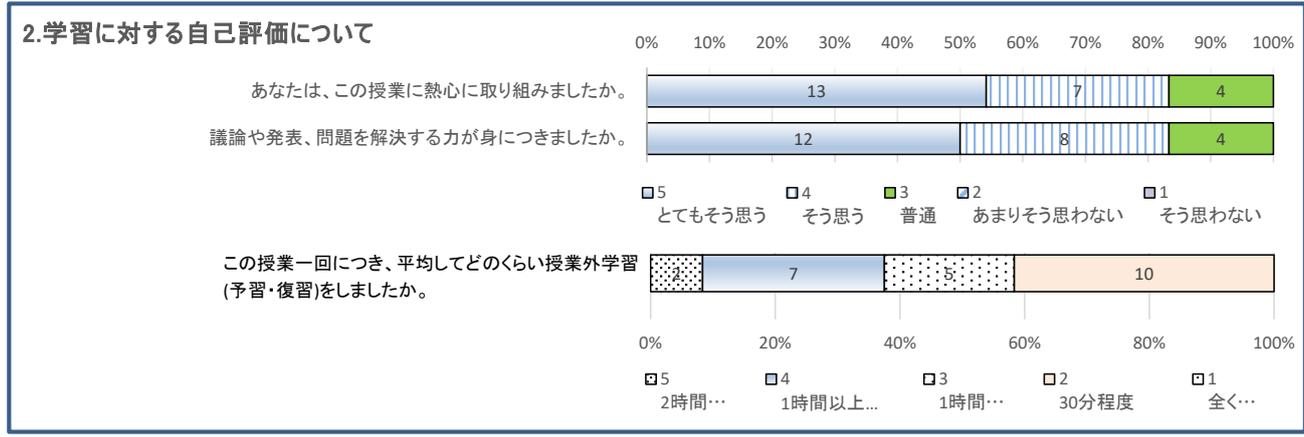
②課題と展望(授業改善方策)

多くの学生が授業時間外学習に取り組んでいないことが分かった。この課題を解決するために「履修者専用のTEAMS」を作成して、授業時間外学習で取り組むべき内容を具体的に提示していきたい。あるいは、参考となる動画URLも添付するなどして、講義で学んだことを日常生活でも実践できるように工夫したい。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	18	4	2	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	19	3	2	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	19	3	2	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	5	2	1	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	6	5	0	0	4.3
総平均							4.6



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	7	4	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	12	8	4	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していません	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	7	5	10	0	3.0

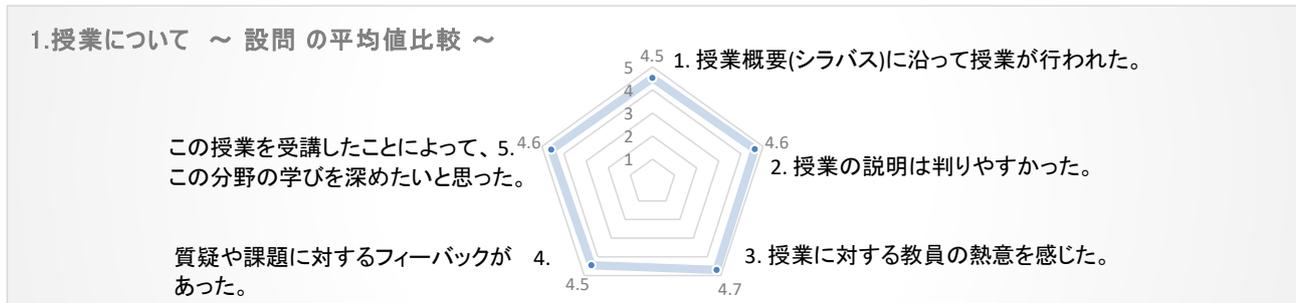


アンケートに対する教員所見

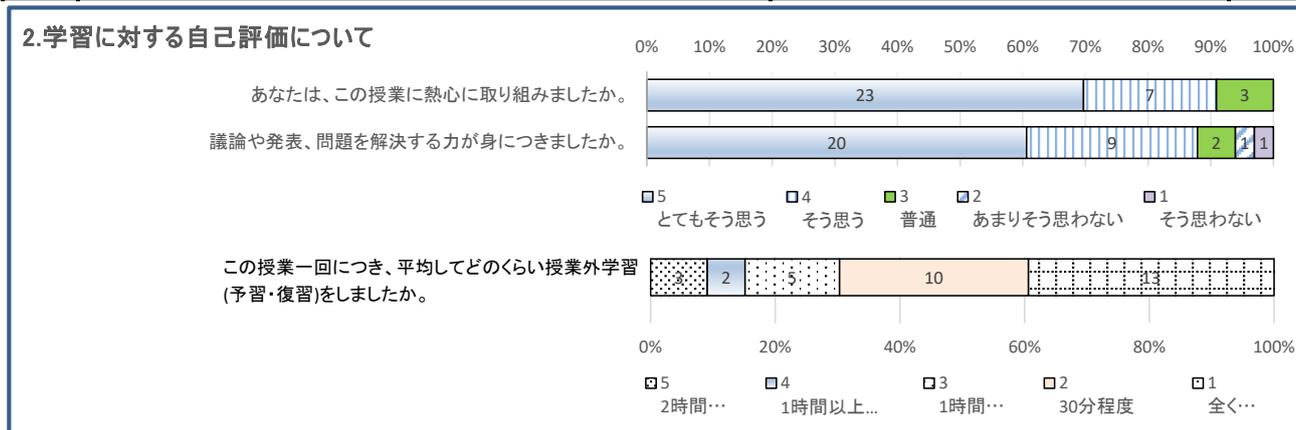
①現状(アンケート結果に対する考察)
 当該科目は、栄養教諭二種免許状取得のための必修科目である。生涯にわたり健康的な生活を送るための視点を持つために、学生自身の体、運動、生活習慣に着目し、望ましい生活について考えていった。アンケートの結果をみると、「1. 授業について」では、全項目において「とてもそう思う」と回答している割合が高くなっていった。「2. 学習に対する自己評価について」では、「授業に熱心に取り組んだ」、「議論や発表、問題を解決する力が身についた」という問いにおいて「とてもそう思う」と回答している割合が高く、授業時間外学習は半数以上が30分以上行っていると回答していた。これらのことから、多くの学生が満足感をもって授業に熱心に取り組んでいることが窺えた。これは、授業内容を学生自身の体や生活の視点から捉え、グループワークや演習を取り入れたため、取り組みやすかったのではないかと考える。なお、「(4) 質疑や課題に対するフィードバックがあった」という問いにおいて、1名が「あまりそう思わない」と回答していた。丁寧さが欠けていたと考える。

②課題と展望(授業改善方策)
 昨年度の改善方策に基づき課題の発表、グループワークを取り入れた結果、全体的に学生の満足感は昨年度より上がっている。課題の発表、グループワークの頻度を増やし、学生が主体的に授業に取り組めるようにしていきたい。また、「質疑や課題に対するフィードバックがあった」という問いにおいて、1名が「あまりそう思わない」と回答していたことから、一人一人に丁寧に対応していきたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	19	12	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	22	10	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	24	8	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	10	4	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	20	12	1	0	0	4.6
総平均							4.6



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	7	3	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	20	9	2	1	1	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	2	5	10	13	2.2

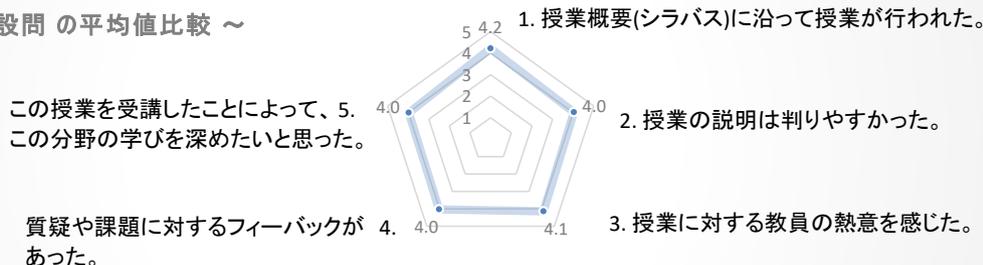


アンケートに対する教員所見

- ①現状(アンケート結果に対する考察)
設問 I、IIともに、「とてもそう思う」を選択した学生が多かった。多くの学生が前向きに学修に取り組んでいたと推察される。
設問 IIの(2)「議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか」に対して、「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した学生がそれぞれ1名ずついた点は課題としてとらえるべきであると考え。
- ②課題と展望(授業改善方針)
授業については全般的に高い評価だったので、引き続き学生たちの実態の把握に努め、学びが深まるよう「発問」と「グループワーク」をバランスよく取り入れていきたい。また、①で課題としてとらえた「議論や発表、問題を解決する力」については、第4回の授業が終わったところで中間アンケートを取り、自己評価の低い学生への対策を講じていきたい。

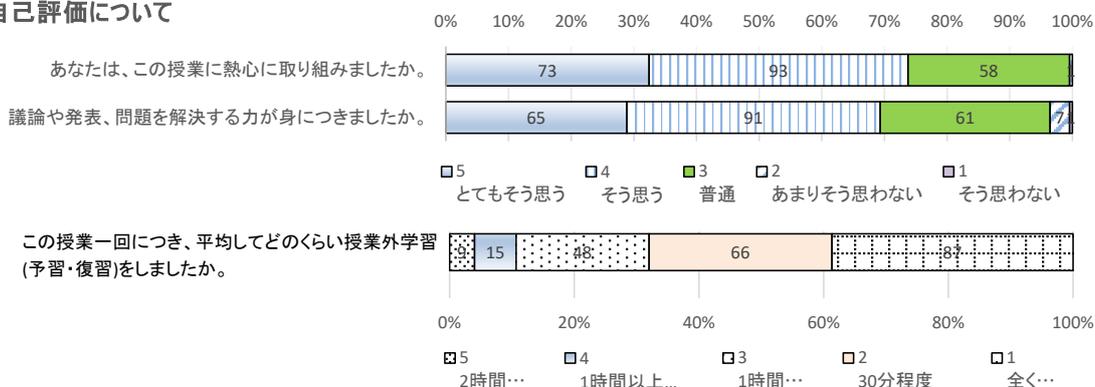
設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	93	88	44	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	76	87	56	6	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	85	91	46	2	1	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	76	86	58	5	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	70	84	66	4	1	4.0
総平均							4.1

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~

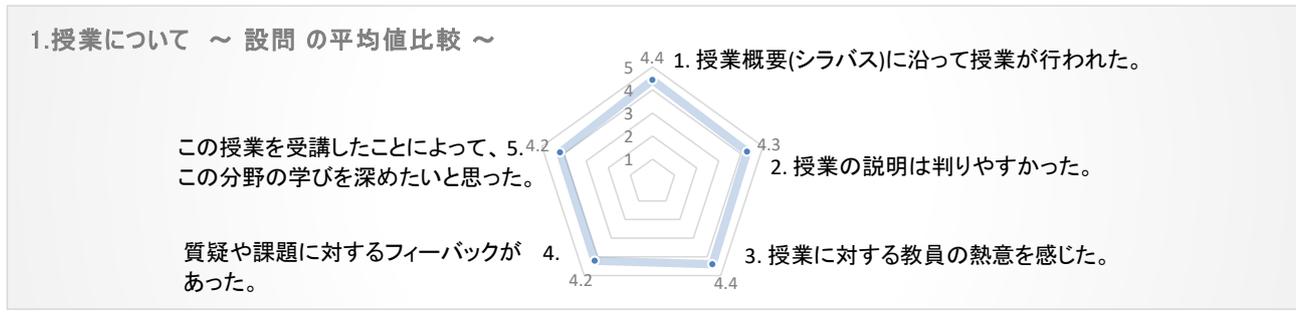


設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	73	93	58	1	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	65	91	61	7	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	9	15	48	66	87	2.1

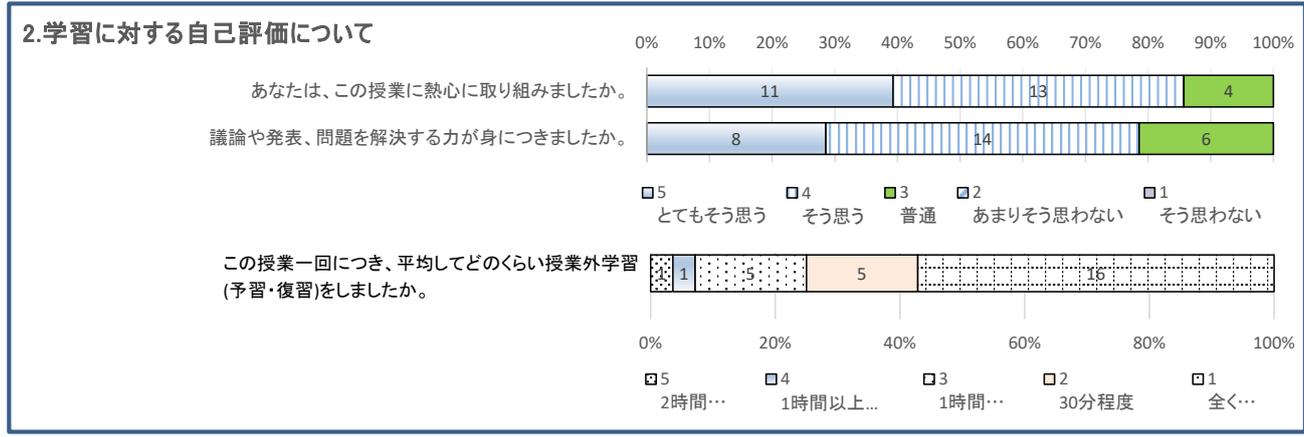
2. 学習に対する自己評価について



設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	15	10	3	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	12	4	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	14	11	3	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	11	12	5	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	10	13	5	0	0	4.2
総平均							4.3



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	13	4	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	14	6	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	5	5	16	1.8

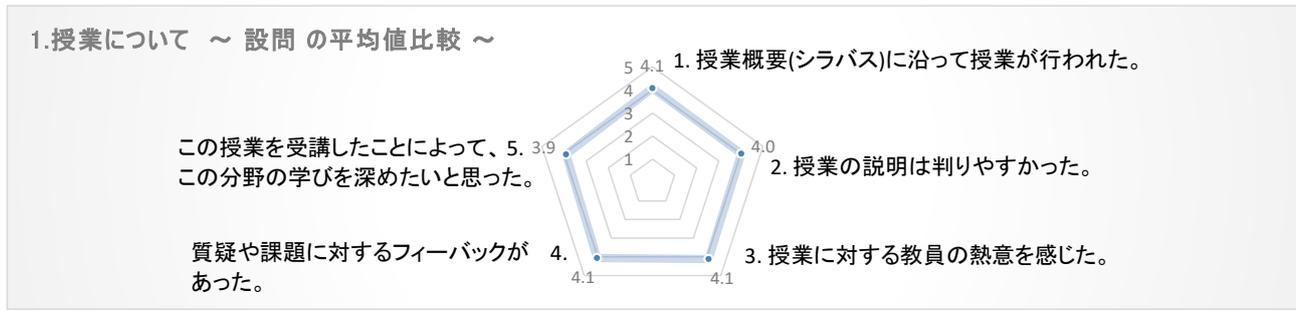


アンケートに対する教員所見

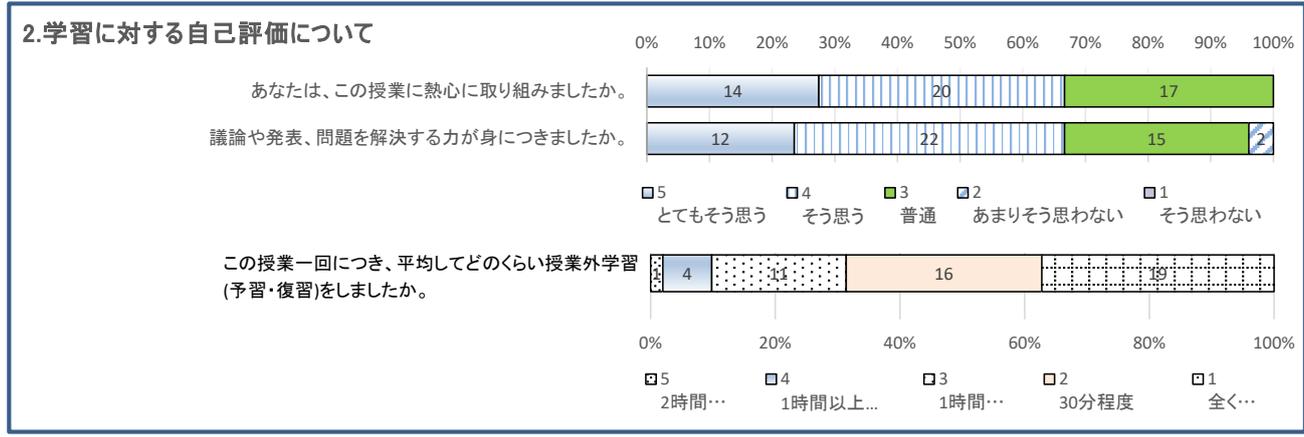
①現状(アンケート結果に対する考察)
 昨年度の「キャリア教育Ⅰ」の授業後アンケートの結果と比較すると、同じ学生たちが2年生になって結果的に総平均が「4.1」→「4.3」に向上している。授業の感覚になれてきたという面も大きいかもしれない。ただし、昨年度に比べて、アンケートへの回答数がかなり少なくなっている点が気になる。アンケートの取り方、あるいは回答への指導徹底がなければ、本当のところ、経年変化なども把握することができない。

②課題と展望(授業改善方策)
 まず、授業後アンケートへの回答に対する指導を徹底することが重要。また割合でみると時間外学習の時間の少なさも課題となる。具体的な課題の提示、提出の確認、適切なフィードバックがなければ、時間外学習は成立しないのが現実ではないだろうか。逆にそれができれば、授業の性質からも「自ら学ぶ」という姿勢を育てることができるものと考えられる。

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	27	10	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	14	24	13	0	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	17	23	11	0	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	22	13	0	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	20	18	0	0	3.9
総平均							4.0



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	14	20	17	0	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	12	22	15	2	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	4	11	16	19	2.1

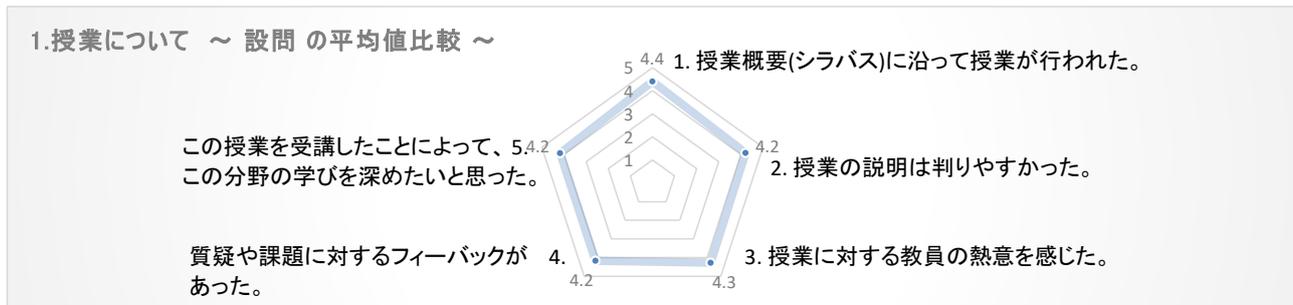


アンケートに対する教員所見

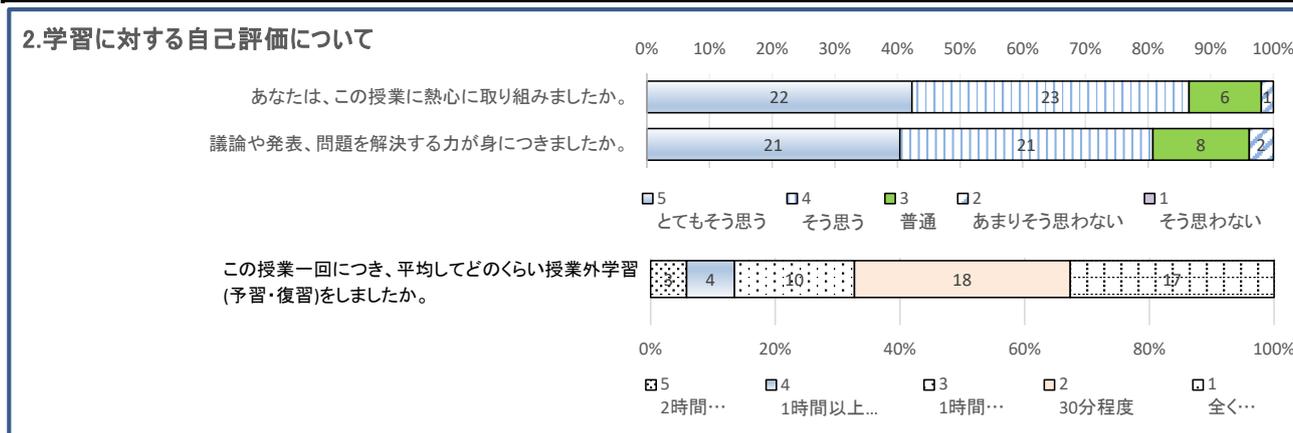
①現状(アンケート結果に対する考察)
 本科目は、キャリア形成支援と就職活動支援を目的として、それぞれの授業ごとに独立したテーマと内容で実施してきた。学生からは「社会人として大切なことや人間として大切なことなど、生きていく上で大切なことを学ぶことができた」、「就職活動に向けて理解が深まった」との評価があり、本科目のキャリア形成支援と就職活動支援の目的は概ね達成できたのではないかとと思われる。今後、本科目の目的と内容を学生が自身のキャリア形成支援と就職活動をより結び付けて捉え、学びが深められるように授業内容や指導法の工夫・改善を図っていきたいと考える。

②課題と展望(授業改善方策)
 「キャリア教育での学びを深め生かしたい」と感じられるように、学習内容の検討や指導法の工夫を図っていききたい。2年生の協働がゼミ活動に生かされる取り組みが重要になると思われる

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	27	19	6	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	23	19	8	2	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	24	19	8	1	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	21	21	8	2	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	18	11	1	0	4.2
総平均							4.2



設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	23	6	1	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	21	21	8	2	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間 以上 2時間 未満	3 1時間 未満	2 30分 程度	1 全く して いない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	4	10	18	17	2.2



アンケートに対する教員所見

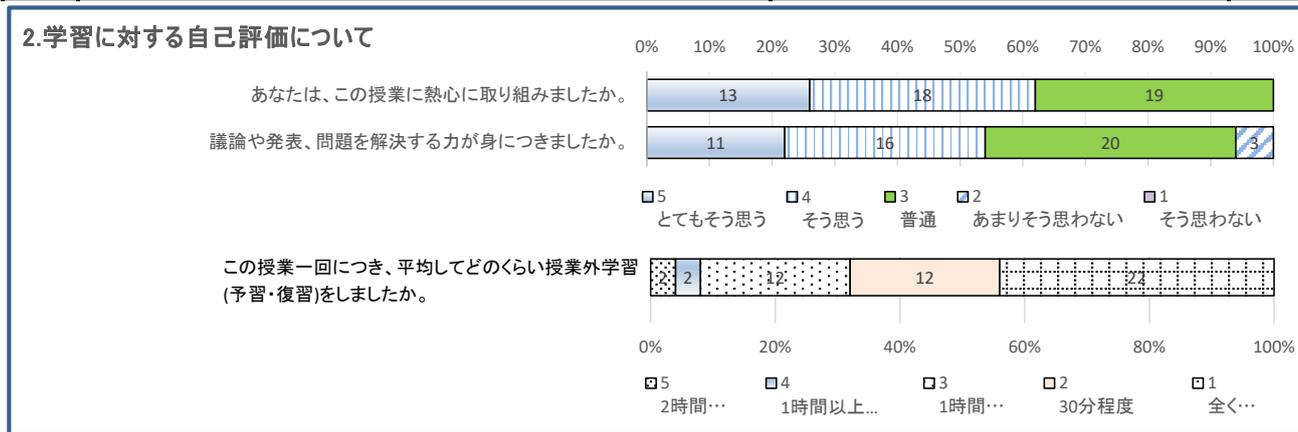
①現状(アンケート結果に対する考察)
 設問Ⅰでは総平均が4.2ポイントであった。昨年の総平均が3.9であったが0.3ポイント向上した。今年度、2年生も1年生と同様にテキストを使用し、エクセルを中心に授業を組み立てた。どの項目も4ポイントを超えており、ある程度効果があったものと推察する。設問1「授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた」は4.4ポイントで、トップであった。また(5)「この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。」では「とても思う」と「そう思う」と答えた人数が40人(77.0%)で昨年の48人(63.2%)から13.8%増加した。また「あまりそう思わない」と「そう思わない」と答えた学生数は1人(0.02%)で昨年の6人(7.9%)から減少した。今後も学生の理解を深めるため更なる工夫に取り組みたい。

②課題と展望(授業改善方策)
 設問Ⅱ「あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか」という設問では「とても思う」と「そう思う」と答えた人数が合わせて45人(86.5%)、「あまりそう思わない」と「そう思わない」と答えた学生数の7人(13.5%)より38名多かった。昨年と比べても課題1つにかかる時間をさらに多くとったことが効果的であったと思う。「この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか」という設問に対しまったくしてないと答えた学生が昨年は31名いたが今年度は17名と半分近くに減少した。しかしながら積極的に取り組まない学生もおり、ここに対する対策をとって行きたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	16	20	0	0	3.9
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	15	21	3	0	3.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	12	17	19	1	1	3.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	13	22	1	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	15	22	2	0	3.7
総平均							3.8



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	18	19	0	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	16	20	3	0	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	12	12	22	2.0

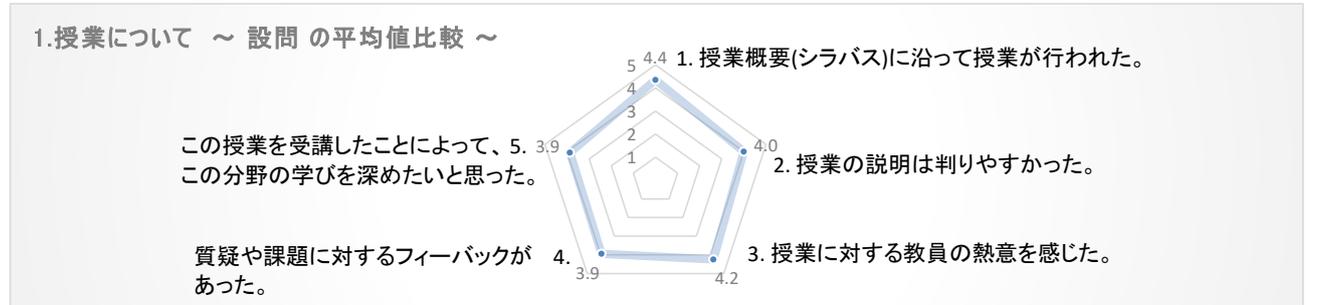


アンケートに対する教員所見

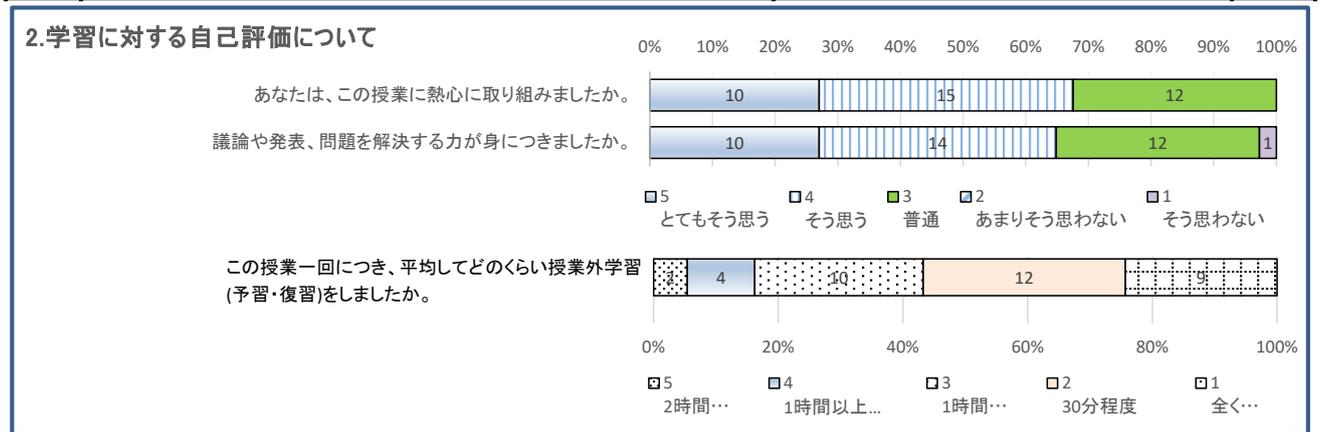
①現状(アンケート結果に対する考察)
 設問 I の(2)は、例年より平均値が低く出ており、「あまりそうは思わなかった」と回答している学生が3名いることから、今年度行った方策により、理解が遠のいてしまった可能性が考えられる。また、設問 II の(3)が平均2.0と低い数値になっていることから、予習・復習方法がわからなかった学生もいることが推察される。

②課題と展望(授業改善方策)
 昨年度の授業改善方策として、「学生が提出した本年度の課題から分析し、簡単にこなせている箇所は授業内解説と課題の分量を減らす」としたが、この部分が①現状(アンケート結果に対する考察)で記載した状況を作り出していると考えた。提出された課題がこなせた時点では単元ごとの目標を達成出来ているが、それを応用する際にはすべて覚えておくことを前提として進めてしまっているため、改善方策としたい。具体的には、授業の前半では、情報処理 I の範囲にも戻る10分程度で出来そうな基本的な課題を追加するようにし、それに詰まる学生に関しては、個別に簡単に解説を行い、よりメインとなる課題の理解を行いやすくするようにする。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	18	14	5	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	14	10	1	0	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	14	18	5	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	11	15	9	2	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	10	15	10	1	1	3.9
総平均							4.1



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	15	12	0	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	14	12	0	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	4	10	12	9	2.4



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問 I (4) について、授業内で2回実施する小テストの解説・講評がやや不十分であったと認識している。小テストで出題した問題を定期試験でも一部出題しているため、より適切なフィードバックを行うことが、学生が試験勉強に取り組む際に役立つと考えられる。

設問 I (5) について、授業冒頭で講義に関連するニュース等を取り上げて、講義内容に関する興味関心を持ってもらえるように工夫したが、学生の積極的・主体的な学習に十分結びつかなかった。

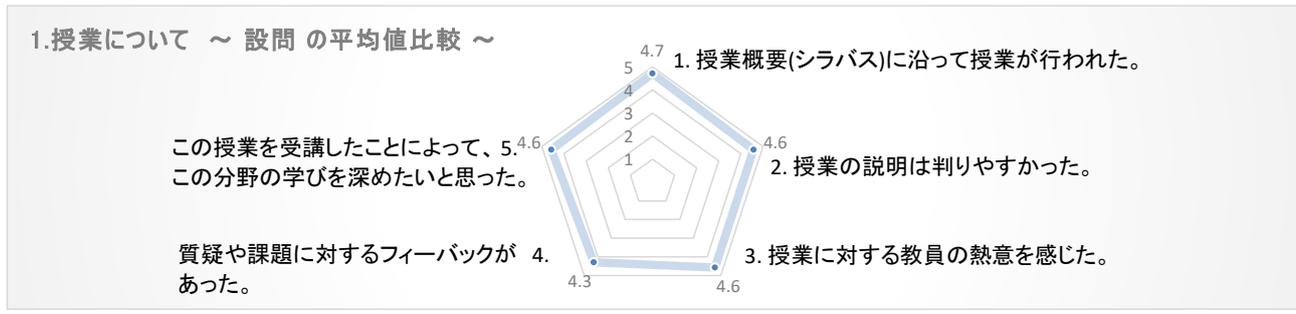
設問 II (2) について、アクティブラーニングの要素を十分取り入れることができなかつたため、学生が思考力・問題解決能力を身につけ、表現することができなかつたと推測できる。

設問 II (3) について、多くの学生がシラバス記載の授業外学習時間を充たすことができなかつたことにより、設問 I (5) と関連して積極的・主体的な学習ができなかつたと考えられる。

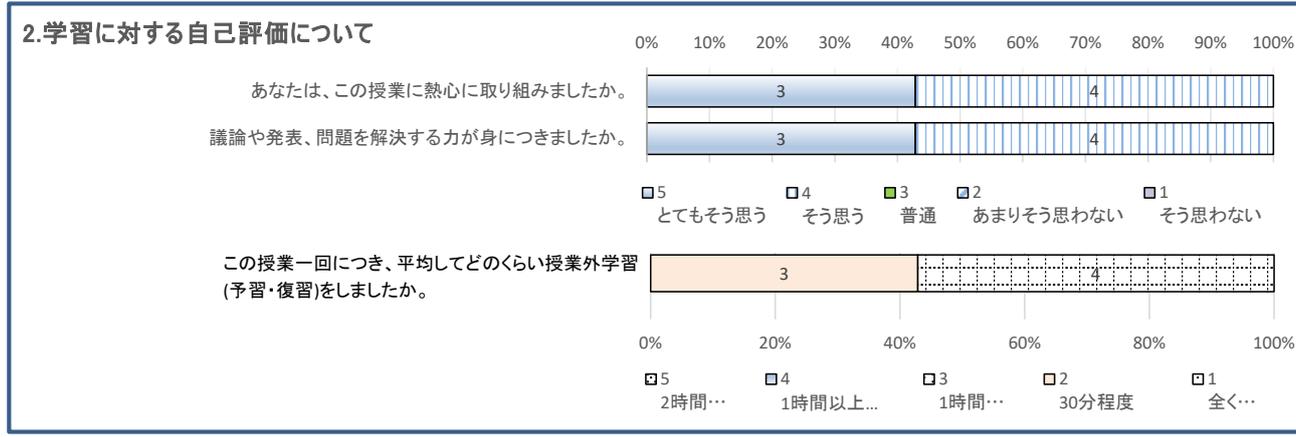
②課題と展望(授業改善方策)

シラバス記載のアクティブラーニングの要素および授業時間外学習を充たすため、学生が授業前後で学習する内容を具体的に指示することにより、予習・復習に取り組むことができるよう授業内容を改善していく。また、学生がレポートを作成する際に、担当教員からより詳細なレポート作成の手引きを提示して、思考力・問題解決能力を身につけて適切に表現できるよう指導する。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	2	0	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	3	0	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	3	0	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	3	1	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	3	0	0	0	4.6
総平均							4.5



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	4	0	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	4	0	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	0	3	4	1.4



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 全体的には5が多いが、質疑応答に対するフィードバックや授業時間外学習に関しては、低い点数が目立った。

②課題と展望(授業改善方針)
 質疑応答に対するフィードバック、授業時間外学習を強化するため、毎回のリアクションペーパーの時間と前半の振り返りの時間をより計画的に設ける。